

<常設展「していみゅーで発見！岡山の魅力！」関連企画>



岡山シティミュージアム 開館 20 周年記念

シリーズ 映像で振り返る 岡山の「昭和 100 年」



令和 7 (2025) 年は、岡山シティミュージアムが開館 20 年を迎えた記念すべき年であるとともに「戦後 80 年」「昭和 100 年」という大きな節目の年でもあります。そこで、これまでに当館が制作・発掘・収集してきた、地域に根ざした映像作品群から 30 本程度を選び、「ミュージアム講座」として 10 回連続の上映会を開催し、岡山市の「昭和 100 年」を映像で振り返ります。

第 6 回は「もの言わぬ証言者～おかでんと懐かしの建物たち～」。明治の末に走り始め、昭和はもちろん、大正から令和まで五つの時代を走り続けた岡山電気軌道、戦災で焼失した岡山市役所の代わりを務めた“中国地方随一の小学校校舎”旧内山下小学校、網浜の丘の上から岡山の街と人を見続けた“日本最古”の放送局舎。もの言わぬ証言者たちの「昭和 100 年」の物語です。

上映会 映像で振り返る岡山の「昭和 100 年」

第 6 回 「もの言わぬ証言者～おかでんと懐かしの建物たち～」

開催日: 令和 7 (2025) 年 12 月 6 日 (土)

会場: 岡山シティミュージアム 4 階講義室

開場: 13:30 開演: 14:00 終了予定: 15:30 の見込み

* 参加無料。定員 70 名。(予約優先) 電話でお申し込みください。

受付開始: 11 月 18 日 (火) 10:00～

主催: 岡山シティミュージアム

〒700-0024 岡山市北区駅元町 15-1 リットシティビル南棟 4 階・5 階

申し込み・問い合わせ用電話: 086-898-3000 (10:00～18:00、休館日を除く)

<上映予定の映像作品>

■「おかでん 走り続けて 108 年」



企画・制作 岡山シティミュージアム

完成 令和 2(2020)年 6 月 9 日

長さ 17 分 21 秒

(内容)岡山市内を走る路面電車、岡山電気軌道、通称「おかでん」は明治 45(1912)年に開業し、今年で 113 年になります。昭和 9(1934)年に西日本一帯に大きな被害

をもたらした「室戸台風」の時も、昭和 20(1945)年 6 月 29 日の大空襲の後も、被害を受けながら、いち早く復旧を果たし、その走る姿は市民を勇気づけました。岡山駅前から終点の東山まで沿線を歩いて取材、昭和の歴史を物語る建造物へカメラを向け、当時の「おかでん」を知る人たちへインタビューをして、市民に愛されてきたわが町の路面電車の歩みをたどります。

■「激動の昭和を見続けた“日本最古”の放送局舎」



「岡山市鳥瞰図」(部分)
(吉田初三郎 昭和 7 年作)

企画・制作 岡山シティミュージアム

完成予定 令和 7(2025)年 11 月末

長さ 約 20 分

(内容)鳥瞰図画家として知られる吉田初三郎が、昭和 7(1932)年 岡山市を舞台に開催された「観光博覧会」のために描いた「岡山市鳥瞰図」(当館所蔵)という作品があります。この絵に描かれた建物群の多くは昭和 20 年の米軍による空襲で失われましたが、中区赤坂台にある NHK 岡山放送局の初代局舎は空襲の炎を逃れ、昭和 36(1961)年に丸の内へ移転するまで 30 年間、丘の上からラジオ放送を出し続け、岡山の街とその歴史

を見続けてきました。昭和 5(1930)年に建物が完成、昭和 6(1931)年に開局した、現存する“日本最古”の放送局舎の 94 年の歴史を映像で振り返ります。

■「旧内山下小学校 校舎～岡山市内 初期の鉄筋コンクリート造り学校建築～」



旧内山下小学校 校舎
～岡山市内初期の鉄筋コンクリート造り学校建築～

企画・制作 岡山シティミュージアム

完成 令和 3(2021)年 4 月 9 日

長さ 11 分 58 秒

(内容)北区丸の内、岡山城西の丸跡に建つ旧内山下小学校校舎は、創建当時、中国地方随一の小学校と呼ばれました。昭和 12(1937)年に全館完成。校舎の一部は

昭和 8(1933)年 1 月(1 期)と昭和 9 年 1 月(2 期)に完成したことから、昭和 9 年 9 月の室戸台風では、被災した市民の避難所として使用されました。また、空襲で庁舎が焼失した岡山市役所は、戦後 4 年間、頑強なコンクリート建造物で焼失を免れた内山下小学校へ疎開していた歴史があります。二つの大災害を乗り越えた校舎をノートルダム清心女子大学名誉教授の上田恭嗣さん(近代建築史)とともに訪ねます。